

院生ライフレポート

2024年

第7号(11月)

教職大学院 1年生後期の講義を紹介します

11月に入り、院生室のクーラーが稼働する日もなくなりました。各コースの研究も来年度に向けてそれぞれ深まっているようです。今回のライフレポートはそのような各コースの授業の様子をご紹介します。

授業実践探究コース:「授業実践の研究」

佐賀大学附属小、附属中で道德の授業を行い、その分析を行っていきます。事前に各学校で授業見学を行い、生徒の実態を把握した上で、分析方法や授業観察の観点を念頭に起きながら、しっかりと授業準備を行いました。実践力を養いながら、研究について学んでいます。



教育経営探究コース:「学校内外連携・協働論」

学校を取り巻く内外の環境を理解し、子どもを育むための学校内外の連携・協働の方法について学修しています。学校の若手、中堅、ベテラン教員が組織の中で、共にどのように連携・協働を構築していくかを学び、来年度の学校変革試行実習が円滑に進むように、様々な文献をレビューし、実践方法を探っていきます。



子ども支援探究コース:「発達障害を持つ子どもの理解と支援」

WISC や DN-CAS などのアセスメントの実践、総合的解釈を行い、子どもへの具体的な支援方法を探っていきます。今回は感覚プロフィールについて学びました。WISC 等ではわからない行動面での困り感があるときに原因を探るためのアセスメントとして有効である事が分かりました。



アイデアカフェを開きました

各コースでの学びの共有や、研究内容、最近読んだ本など…「アイデアカフェ」と称し、講義外の学び合う場を開きました。初回は「これからのアイデアカフェで話題にしたいこと」をテーマに話し合いました。これから月に2回のペースで、現職院生の実践や読書会、模擬授業などを行い、学びをさらに深める時間にしたいです。

